

1 インTRODクシヨN

15 : 30 ~ インTRODクシヨN

- 本日のオンラインセミナープログラム紹介
- 次回以降の紹介 等

15 : 35 ~ 事務局からの共有事項

- スマートシティセキュリティガイドライン(第2.0版)の概要について
(総務省サイバーセキュリティ統括官室 様)
- ネット・ゼロスマートシティ分科会の発足について
(PwCコンサルティング合同会社 様)

15 : 45 ~ 実践都市による発表

- 自治体ご担当者様からご説明
(前橋市 様、浜松市 様、岡崎市 様)

16 : 30 ~ 質疑応答

※ご質問は画面下の「Q&A」機能よりご記入ください。

※時間の都合上できなかった質問については、官民連携プラットフォーム事務局宛てにメールでご送付ください。

E-mail : hqt-scpf-ppp@gxb.mlit.go.jp

官民連携プラットフォーム オンラインセミナー年間スケジュール

- 全国各地の会員・オブザーバー同士の交流を密に図り、最新情報を共有するため、隔月でオンラインセミナーを実施
- オンラインセミナーでは、全国への取組の横展開に向け、先駆的取組を紹介するオンラインセミナー（全3回）を開催いたします。
- 本セミナーでは、全国のスマートシティの先駆的取組の紹介・意見交換を通して、スマートシティを実装する上でのポイントとなる、資金持続性、都市OS、推進体制等についての課題意識、知見等の共有を目指します。

回数	時期	内容（予定）
1回目	8月3日（火） 15:30～	前橋市・浜松市・岡崎市による取組紹介・意見交換
2回目	10月上旬	中山間地での取組や都市OSを導入した地域の取組紹介・意見交換を予定
3回目	12月上旬	

※時期や内容等は変更となる可能性があります。

2 事務局からの共有事項

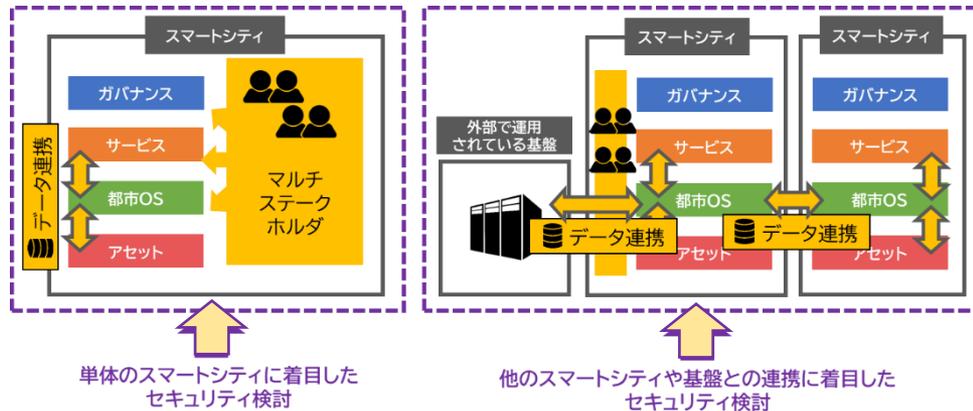
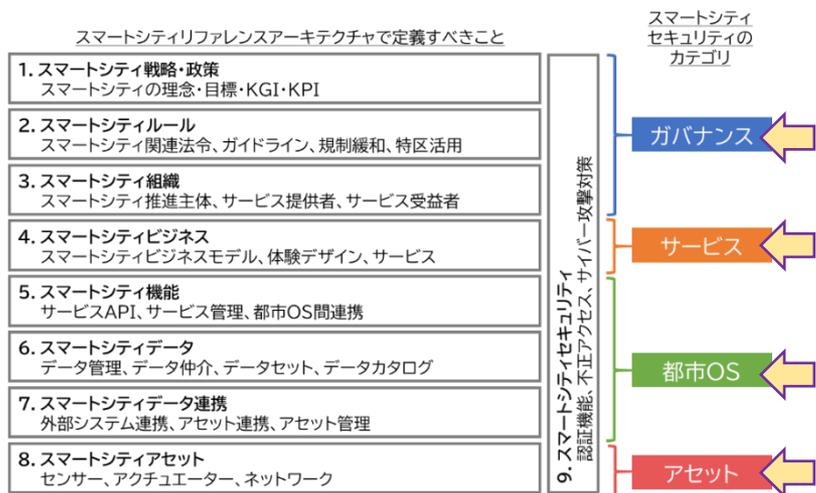
スマートシティセキュリティガイドライン（第2.0版）の 概要について

令和3年8月3日

総務省 サイバーセキュリティ統括官室

スマートシティセキュリティガイドライン（第2.0版）の概要について

- 「スマートシティセキュリティガイドライン」は、スマートシティの推進のための指針として、多様な関係主体が講じるべきセキュリティ対策や留意事項等を示したもの。昨年10月に第1.0版を公表した後、内容のブラッシュアップを進め、本年6月に第2.0版を公表。
- ガイドラインでは、スマートシティの構成要素(※)をセキュリティの観点から4つのカテゴリ（＝ガバナンス、サービス、都市OS、アセット）に分類し、各カテゴリごとに想定されるセキュリティ上のリスクやセキュリティ対策を記載。（※:「スマートシティリファレンスアーキテクチャ」で定義されている各階層）
- また、「マルチステークホルダが複雑に関与」「多様なデータの連携」といったスマートシティの特徴を踏まえ、スマートシティ特有のセキュリティ対策を3つ（＝適切なサプライチェーン管理、インシデント対応時の連携、データ連携時のセキュリティ確保）に分類して、リスクや具体的な対策を記載。



上述の4つのカテゴリそれぞれにおけるリスクやセキュリティ対策を記載

ガバナンス	サービス
<ul style="list-style-type: none"> ✓ セキュリティに関するポリシー策定 ✓ マルチステークホルダへのポリシー浸透 ✓ ガバナンス維持のための取組 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ それぞれのサービスにおけるリスクアセスメント ✓ 外部からの攻撃等を防ぐセキュリティ対策 ✓ インシデント発生防止のためのセキュリティ対策 ✓ インシデント発生時に備えたセキュリティ対策
都市OS	アセット
<ul style="list-style-type: none"> ✓ 外部からの攻撃等を防ぐセキュリティ対策 ✓ インシデント発生防止のためのセキュリティ対策 ✓ インシデント発生時に備えたセキュリティ対策 ✓ 適切なクラウドサービスの利用 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ アセットの監視・管理 ✓ アセットそのものへのセキュリティ対策

スマートシティの特徴を踏まえ、スマートシティ特有のセキュリティ対策として以下の3つに分類し、それぞれにおけるリスクやセキュリティ対策を記載

適切なサプライチェーン管理	インシデント対応時の連携	データ連携時のセキュリティ
<ul style="list-style-type: none"> ✓ サプライチェーン全体のリスク・脆弱性情報の管理・把握 ✓ 委託先のセキュリティ管理体制評価 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ インシデント対応体制の構築 ✓ インシデント対応手順の整備 ✓ インシデント対応訓練・演習の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ データ連携元・連携先のセキュリティ管理体制評価 ✓ 認証とアクセス制御の実施 ✓ データ利用時の透明性、信頼性の担保、匿名化・秘匿化 ✓ APIのセキュリティ確保

スマートシティセキュリティガイドライン（第2.0版）の概要について

- 本ガイドラインを有効に活用できるよう、「スマートシティセキュリティ導入チェックシート」や「スマートシティセキュリティガイドブック」といった補助コンテンツも同時に公表。

スマートシティセキュリティ導入チェックシート

カテゴリ 3 都市 OS

① セキュリティに関するポリシーの策定

都市 OS①-1: 都市 OS へのアクセス制御を実施、運用する

- 外部から都市 OS に関わるシステムに通信をする場合は、ファイアウォール等を実装し、適切なアクセス制御を実装する

都市 OS①-2: 適切な権限設定を実施し、管理する

- 必要の人や役割などに限定した権限設定を行い、アカウントの一覧表を作成し、定期的に棚卸しするなどして適切に管理する

都市 OS①-3: 認証機能を実装する

- アクセスした人が本人であるかを確認するための認証機能を実装する

都市 OS①-4: セキュリティ監視を実施する

- IDS や IPS を設置し、不正なコマンドが含まれた通信等のシステムへのサイバー攻撃を監視する

② セキュリティに関するポリシーの策定

都市 OS②-1: 都市 OS の企画・設計・開発工程における脆弱性を排除する

- 都市 OS を構成するシステムの企画・設計・開発等の各段階においてセキュリティを検討・実施する

スマートシティセキュリティガイドブック



The image shows the cover and two content pages of the 'Smart City Security Guidebook'. The cover features a colorful illustration of a smart city with various icons representing different services and security aspects. The first content page is titled 'セキュアな都市OS(プラットフォーム)を準備しよう' (Prepare a secure smart city OS (platform)). It includes a section on '代表的なセキュリティリスク' (Representative security risks) and a detailed diagram of a smart city architecture with security layers. The second content page is titled '都市OSにおけるセキュリティ対策のポイント' (Key points for security measures in smart city OS). It lists four key points: 1. Access control implementation, 2. Authority setting management, 3. Authentication implementation, and 4. Security monitoring implementation. Each point is accompanied by a small diagram illustrating the measure.

- ✓ ガイドラインに記載されている内容の網羅性を確認するためのチェックシート
- ✓ 必要に応じて本文やAppendixに掲載されているセキュリティ対策一覧等を参照し、詳細の対策を把握

- ✓ ガイドラインの内容を要約しつつ図を多用して説明し、誰でも短時間でガイドラインの全容を把握できるようにしたガイドブック
- ✓ ガイドブックの最後には、本ガイドラインの内容に則した好事例取組の紹介あり

それぞれのスマートシティにおいて提供されるサービスによって、取り扱われる情報資産（データ）や可用性に対するサービスレベル等は異なることから、自身のスマートシティの特徴を十分に把握した上で、本ガイドラインや補助コンテンツを参照・活用いただき、適切なセキュリティ対策を実施いただけますと幸いです。

ネット・ゼロスマートシティ検討分科会の 発足について

PwCコンサルティング合同会社 様

ネット・ゼロ スマートシティ検討分科会

分科会提案者：PwCコンサルティング合同会社

<h3>分科会の目的</h3>	<p>政府が掲げる「2050年までに温室効果ガスの排出量を実質ゼロ(ネット・ゼロ)とする」目標の下、スマートシティの取り組みにより地域のネット・ゼロの実現を加速させる</p>
<h3>解決したい課題</h3>	<ul style="list-style-type: none"> 地域においてネット・ゼロを実現するために検討すべきこと、およびスマートシティの取り組みが貢献する事項の明確化 2050年ネットゼロに向けた地域の取り組みの方向性と短中期の施策整理 地域におけるネット・ゼロ実現に向けた産学官それぞれの役割分担

分科会での活動内容 及び 期待される成果

■ 分科会での活動内容

活動1：国内外によるネット・ゼロの取組調査
国内外におけるネット・ゼロの取り組みの動向、およびスマートシティにおける事例の調査

活動2：分科会開催

スマートシティの取り組みによるネット・ゼロの実現に向け、ネット・ゼロ自体や実現に必要な施策を理解する。
また、実現に向けて取り組むべき施策や時間軸を考慮したロードマップを策定し、各地域における実行計画への反映、および直近実施すべき事項の整理に活用いただく。

■ 期待される成果

- 国内外のネット・ゼロの取り組みの調査結果
- ネット・ゼロ スマートシティの全体像イメージ
- 時間軸を考慮した実現に向けた施策と産学官の役割
- ネット・ゼロ スマートシティ実現のロードマップ

対象分野

- 交通・モビリティ
- エネルギー
- 防災
- インフラ維持管理
- 観光・地域活性化
- 健康・医療
- 環境
- 農林水産業
- 都市計画・整備
- 物流
- セキュリティ・見守り
- その他 ()

方向性共有

- ネット・ゼロを取り巻く環境や事例に基づく、対応手段・主要課題の整理
- スマートシティによる促進要因検討

アクション整理

- ネット・ゼロスマートシティ全体像検討
- 達成に必要な都市の構成要素検討
- 産官学の役割整理

評価方法検討

- 地域におけるネット・ゼロ実現に向けた取り組みの評価ステップ検討
- ステップごとの検討事項の整理

ロードマップ検討

- ネット・ゼロスマートシティ実現に向けたロードマップ検討
- スマートシティ推進計画への落とし込み



今年度のネット・ゼロ スマートシティ検討分科会の活動予定

今年度の活動	活動のメインテーマ	初年度である今年度は、地域におけるネット・ゼロの実現を加速させるスマートシティ像と機能、および実装に向けた諸課題について検討し、各スマートシティの現在/未来においてどのような施策へ取り組むべきかといったロードマップを策定する
	解決したい課題	<ul style="list-style-type: none"> 地域においてネット・ゼロを実現するために検討すべきこと、およびスマートシティの取り組みが貢献する事項の明確化 2050年ネットゼロに向けた地域の取り組みの方向性と短中期の施策整理 地域におけるネット・ゼロ実現に向けた産学官それぞれの役割分担

分科会での活動内容 及び 期待される成果

■ 分科会での活動内容

活動1：国内外によるネット・ゼロの取組調査

国内外におけるネット・ゼロの取り組みの動向、およびスマートシティにおける事例の調査

活動2：分科会開催（オンライン4回を想定）

- ① ネット・ゼロ×スマートシティへの理解
- ② ネット・ゼロスマートシティの実現に向けた現在/将来のアクション
- ③ ネット・ゼロスマートシティの評価
- ④ 達成に向けたロードマップ

※各分科会においては参加団体が抱える課題や保有する知見を発表いただく可能性がございます。

■ 期待される成果

- ・国内外のネット・ゼロの取り組みの調査結果
- ・ネット・ゼロ スマートシティの全体像イメージ
- ・時間軸を考慮した実現に向けた施策と産学官の役割
- ・ネット・ゼロ スマートシティ実現のロードマップ

実施スケジュール

	4-6月	7-9月	10-12月	1-3月
マイルストーン		★ 分科会 立上げ		★ 報告書 作成
活動1		デスクトップ 調査		
活動2		分科会 ①	分科会 ②	分科会 ③
			分科会 ④	
		各団体事前準備 ※必要に応じて個別討議		

連絡窓口

PwCコンサルティング合同会社 Smart City Solution Team

安田 景: akira.yasuda@pwc.com /070-3250-7942

内藤 陽: akira.naito@pwc.com /090-6656-8791

藤平 寛人: kanto.fujihira@pwc.com/080-3013-6965